

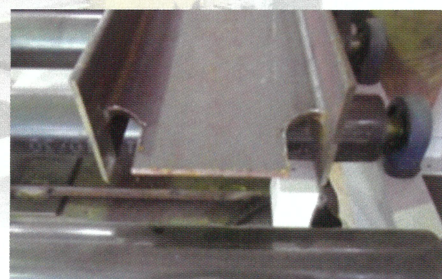


H形鋼自動開先加工機の導入による作業効率の向上とディーセントワークによる人材育成事業

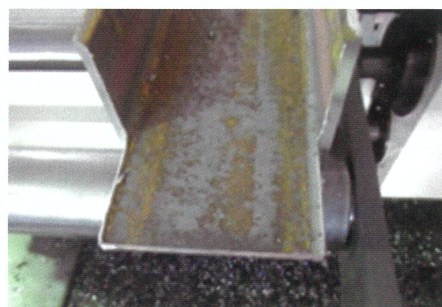
平成25年度 補正予算事業

実施した事業の概要と成果

鉄骨工事の耐震構造上、重要な機械加工の工程である開先加工を行う両面開先加工機の導入を実施した。既設の片面開先加工機にはない、3種類の開先加工が自動的に行われることや、作業の自動化による時間短縮につながった。また、今後主流になっていくノンスラップ工法に対応しているため、ゼネコン、商社からの見積り、引き合い物件等の問い合わせに対し、対応が可能になった。



一度の材料固定により両面の開先加工が行われた製品



ノンスラップ加工を行った製品



技術開発や課題解決への取り組み

鉄骨工事の耐震構造上、重要な機械加工の工程である開先加工を行う両面開先加工機の導入を実施した。既設の片面開先加工機から両面開先加工機にすることにより、加工のたびに行っていた反転作業がなくなり、加工作業の時間短縮・加工能力の向上等の成果が得られた。



開先加工



事業者 有限会社 牧之原鐵工

代表者 代表取締役 田中 兼頼

設立年月 平成2年6月

所在地等 〒899-4501
霧島市福山町福山4688-4
TEL: 0995-56-2079
FAX: 0995-56-1988
E-mail: makinohara@po4.synapse.ne.jp

事業区分 ものづくり技術

資本金額 500万円

従業員数 7人

業 種 鉄鋼業

有限会社 牧之原鐵工 の

生魂
いっだまし

代表取締役
田中 兼頼



補助事業取り組みへのきっかけ・目的は？

鉄骨加工を行う上で、H型鋼材等の開先加工が作業時間の大きなウエイトを占めており、作業時間の短縮によるコストダウンと安全性の確保を図るために設備を導入した。既設の片面開先加工機から両面開先加工機にすることにより、加工のたびに行っていた反転作業がなくなり、加工時間の時間短縮・加工能力の向上を図ることが取組へのきっかけである。

今後の取り組みは？

鉄骨の開先加工において、今後は、ノンスカラップ工法が主流になっていくため、今回導入した両面開先加工機によって、今まで不可能だった加工も可能になり、物件の受注において優位にたてるようになる。また、加工作業の時間短縮・加工能力の向上等により、短納期の物件にも対応できるようになる。